



## 支持的風土を感じて

校長 阿部雄生

9月に行われた体育祭の開会式で、連合対抗リレーの練習時のことを話しました。私の中では、今年度の前期で特に印象に残っているシーンだったと言えます。印象に残ったのは、選手たちに送られた拍手をととても嬉しく思ったからです。

その拍手にはどんな気持ちが込められていたのか。選手たちへの期待と激励、そして労いの気持ちですね。そんな皆さんの雰囲気があったから、選手たちは「期待されている」と張り切って精一杯の走りを見せることができたのだと思います。

体育祭に限らず、普段の学校生活、学級や学年、部活動や委員会などでも、そうした互いに励ましたり応援したり、労ったり、そして困っていそうだったら助けてあげたり、そうした雰囲気があると、一人一人が安心して持てる力を発揮でき、どんどんと成長していけると思います。その逆だったら、せっかく力があるのに「失敗したら何か言われるかも」と萎縮して、力を発揮できずに終わってしまうのではないのでしょうか。

そんな励ましたり応援したり、労ったり、助け合ったりする雰囲気のことを「支持的風土」といいます。体育祭練習で、皆さんの中にある「支持的風土」を感じてとても嬉しく思いました。しかし、この支持的風土はいつまでもあるものでなく、何かの拍子に消えて無くなってしまうものでもあると思います。

今後も、皆さん一人一人が「支持的風土」を作っていく努力をしてください。そして、互いに持てる力を大いに発揮しあえる寄居中を目指しましょう。

後期が始まります。3年生は、自分の希望する進路実現のため、しっかり準備を進めてください。不安や悩みはあって当然、抱えきれなくなったら誰でもいいので相談してください。2年生は寄居中生徒会のリーダー的立場になります。自分が良ければいいではなく、周りに対する気配り心配り、「心の射程距離」を伸ばしてください。1年生は、自分の学習への取組や生活習慣を自らの意思でさらに良いものにしていってください。

2週間後には合唱コンクールが開催されます。一人一人が持てる力を発揮して、素晴らしいものを創り上げる喜び、感動を得られる合唱コンクールになることを願っています。

充実した令和4年度の後期としましょう。

(令和4年度前期終業式と後期始業式で話した内容を編集しました。)

